

製品と消費者安全のSDGs

「モノの終活・循環」に着目し
モノを使用し終える時の責任やつながる仕組みについて
つくり手・つかい手・つなぎ手の立場から考えます

PROGRAM

1-主催者挨拶と問題提起

【背景】SDGs目標12「つくる責任・つかう責任」

東北工業大学 製品安全シンポジウム実行委員長 中島敏

2-シンポジウム パネラーからの話題提供

「製品の寿命を考えたモノづくり」

アイリスオーヤマ株式会社 商品開発部部长 佐藤耕平氏 (つくり手)

「これからのモノの寿命と循環及びルール作り」

一般社団法人 PL対策推進協議会 会長 渡辺吉明氏 (つなぎ手)

「仙台市八木山での実践・無償譲渡会『ただもん市』」

一般社団法人 ございん八木山 代表理事 井上則雄氏 (つなぎ手・つかい手)

3-パネラーとの意見交換

コーディネーター 東北工業大学特命教授 菊地良覚

4-閉会挨拶

一般社団法人 PL対策推進協議会 事務局長 菅野裕

生活者の視点における
モノの終活・循環を考える

第8回 東北工業大学 製品安全シンポジウム

2022年11月19日(土)
13時30分~15時30分

Zoomミーティングによるオンライン開催

参加費無料・事前申込制 (11/16締切)
参加申込はQRコードまたはURLから
<https://forms.office.com/r/5j68LCgtuV>



問い合わせ先

東北工業大学 地域の暮らし共創デザイン研究所
伊藤 美由紀 nsmiyuki@tohtech.ac.jp

主催 東北工業大学製品安全シンポジウム実行委員会
共催 東北工業大学地域の暮らし共創デザイン研究所
東北工業大学 地域連携センター
一般社団法人 PL対策推進協議会

後援 一般社団法人 PL研究学会

